

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や地震、風水害、土砂災害、雪害等の非常災害の対策について、実践的なあらゆる想定をした訓練実施を積み重ねる必要がある。	非常災害対策のマニュアルの再検討、再作成をし、実践的訓練を行い、緊急時に備える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの確認をする。 ・火災、地震、風水害、土砂災害、雪害等のマニュアルの見直し、再作成をする。 ・定期的な訓練と備蓄品の確認をする。 	12か月
2	27	入居者の体調や精神状態、日常生活の様子、ケアの実践と反応と結果等の個別記録について、専門職としての視点の記録を見直す必要がある。	共に生きることを意識した専門職としての観察、ケア、記録ができ、介護計画に活用でき、生活の質の向上につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・記録について、内部研修会の実施と外部研修会の参加をし、その意義について共有する。 ・記録の書き方や記録様式の見直しをする。 ・記録する上でのポイントや注意事項の共通理解をし、実際の記録についての検討会を行う。 	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。